電動アシスト自転車

取扱説明書

Kuo/20

A2B

目次

■目次 …… 01
■はじめに …… 02
■警告表示について …… 03
■安全上のご注意 …… 04－08
バッテリ / 充電アダプタ / コード・プラグについて …… 04
アシスト自転車について …… 07
■各部の名称 …… 09
■バッテリ …… 11－13
取り外し方法 …… 11
取り付け方法 …… 12
充電方法 …… 13
■電源の入れ方 / 切り方 …… 14
■操作スイッチ …… 15－16
操作スイッチの各部名称 …… 15
アシストモードの切り替え …… 16
■ライト …… 17
■走行距離の目安 …… 18
■保管と手入れ …… 19
■点検・整備項目 …… 20
■故障かな？と思ったら …… 21
■製品仕様 …… 22
■お問合せ …… 22

はじめに

この電動アシスト自転車取扱説明書では、A2B Kuo20（エーツービー・クオ 20）用電動アシストユニットの取扱い方法を説明しています。
この取扱説明書をよく読み、内容を理解したうえで正しくご使用ください。
自転車のご利用にあたっては同梱の取扱説明書（保証書）を必ずお読みください。
電動自転車取扱説明書 / 取扱説明書（保証書）はお読みになった後も大切に保管してください。

●製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。
●この取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。
●本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

警告表示について

●安全にご使用いただくために

＊ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害と自転車の損害を未然に防止するために本書に記載されている内容をよく理解していただき、警告・注意・禁止事項を必ずお守りください。

＊特に折りたたみ自転車については一般自転車より操作する部分が多く、ご使用に際し注意が必要です。

＊不注意や誤った操作などは事故につながる恐れがあります。本書・別紙注意書・本体ラベルに記載されている内容をよく理解していただき、各記載事項をお守りください。

●表示マークについて

＊お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。	
⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的傷害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。	
❗強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告強制

●異常を発見したら販売店にご相談ください。

●変形、ひび割れなど異常のある部品は必ず交換してください。

●曲がりを直しての再使用は破損の原因になりますので絶対にしないでください。

※前フォークは衝突時、曲がることでショックを吸収しケガを防止する役割があります。

【安全上のご注意：自転車】については
同梱の『取扱説明書(一般自転車・幼児用自転車)』を
必ずお読みください。

バッテリ / 充電アダプタ / コード・プラグについて

⚠ 警　告

電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししないこと
感電するおそれがあります。

電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込むこと
感電や火災のおそれがあります。

火の中に入れたり、加熱したりしないこと
火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

窓を閉めきった車中や直射日光のあたるところ、高温になるところにバッテリを放置しない
火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

屋外の雨に濡れるところや浴室・洗面台などの水のかかる場所で充電したり保管・放置しない
感電や火災のおそれがあります。

バッテリのケース・充電アダプター・コード・プラグが傷んだものは使用しない
感電や火災のおそれがあります。

幼児の手の届くところに置かない
感電やケガのおそれがあります。

分解や改造はしない
感電や火災のおそれがあります。

端子間に金属などを接触させないこと
また針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しないこと

感電や火災のおそれがあります。

バッテリーを長期間、放置しない

長期間の保管はバッテリーの劣化の原因となります。
目安として3ヶ月に1回は充電してください。

バッテリ / 充電アダプタ / コード・プラグについて（つづき）

⚠ 注　意
バッテリ・充電アダプタ・コードは専用のため、他の機種やその他の用途には使用しないこと 火災や破裂によりケガをするおそれがあります。
バッテリを充電する場合は、専用の充電アダプタを使用し 指定の充電条件を守ること 他の充電機器を使用すると、火災やバッテリの破裂により怪我をするおそれがあります。
電源はAC100～240V（50/60Hz）を使用すること また、コンセントやコードは定格内で使用すること 定格外のものを使用すると火災のおそれがあります。
充電中はバッテリやアダプタの放熱を妨げないこと 上に物を置いたりしないこと 火災のおそれがあります。
塵やほこりの多い場所で充電したり、保管しないこと 火災のおそれがあります。
充電中はバッテリやアダプタに皮膚が長時間触れないこと 低温やけどのおそれがあります。
バッテリやアダプタは平らなところに置くこと バッテリやアダプターが落下し、ケガをするおそれがあります。
充電が完了したら、プラグをバッテリから外すこと 差し込んだまま放置すると火災のおそれがあります。
コードの抜き差しはプラグを持って行うこと コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。
コードを持ってバッテリやアダプタを持ち上げたり、ひっぱったりしないこと コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。
コードやプラグをショートさせないこと 火災のおそれがあります。

バッテリ / 充電アダプタ / コード・プラグについて（つづき）

⚠ 注　意

バッテリやアダプタを落下させたり、衝撃を与えたりしないこと

バッテリやアダプターが破損し、火災のおそれがあります。

コードを破損させないこと

感電や火災のおそれがあります。

プラグにゴミや土、油が付着しないようにすること

感電や火災のおそれがあります。

お手入れの際、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉などは使用しないこと

部品が傷つき、火災のおそれがあります。

長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

感電や火災のおそれがあります。

一般のゴミと一緒に捨てないこと

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。破棄する際は各自治体にご確認いただき、従ってください。

万一、バッテリから液が漏れた場合は、以下の注意事項を守ること

●皮膚や衣服につけないように注意する
●目に入った場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける
●皮膚についた場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける

バッテリやアダプタが以下のときには、速やかに使用を中止し
購入の販売店に連絡すること

●水没させたとき
●内部に水や異物が入ったとき
●落下させたとき
●強い衝撃を受けたとき
●ケースが破損したとき
●異音が発生したとき
●発煙があったとき
●異臭がしたとき

アシスト自転車について

⚠ 警　告

「蹴り乗り」はしないこと
必ずサドルにまたがってから発進すること

ペダルに力が加わると、電動補助力が働き、転倒や接触事故のおそれがあります。

操作スイッチを「ON」にしたまま駐車、停止、自転車の押し歩きをしないこと

足や荷物がペダルに触れると電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。

走行中に操作スイッチを操作しないこと
操作は停止してから行うこと

転倒や事故のおそれがあります。

アシスト自転車やアシストユニットを分解、改造しないこと

感電やケガをするおそれがあります。

アシスト自転車について（つづき）

⚠ 注 意

バッテリが確実に固定されていない状態で乗らないこと

バッテリが外れて、転倒やケガのおそれがあります。

バッテリに負荷を加えない

とくにバッテリに手をかけたり、衝撃を与えるとバッテリがはずれたり破損したりして
転倒や事故のおそれがあります。

深い水たまりなどを走行しないこと
台風や大雨のときも運転しないこと

大量の水がアシストユニットにかかったり、水没すると
漏洩し、感電のおそれがあります。

走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら
使用を中止して販売店で点検・整備すること

そのまま使用を続けると事故の原因となるおそれがあります。

必ず平らな場所に駐輪すること

平らな場所に駐輪しないと、自転車が転倒し、ケガをするおそれがあります。

バッテリに手をかけて自転車を持ち上げないこと

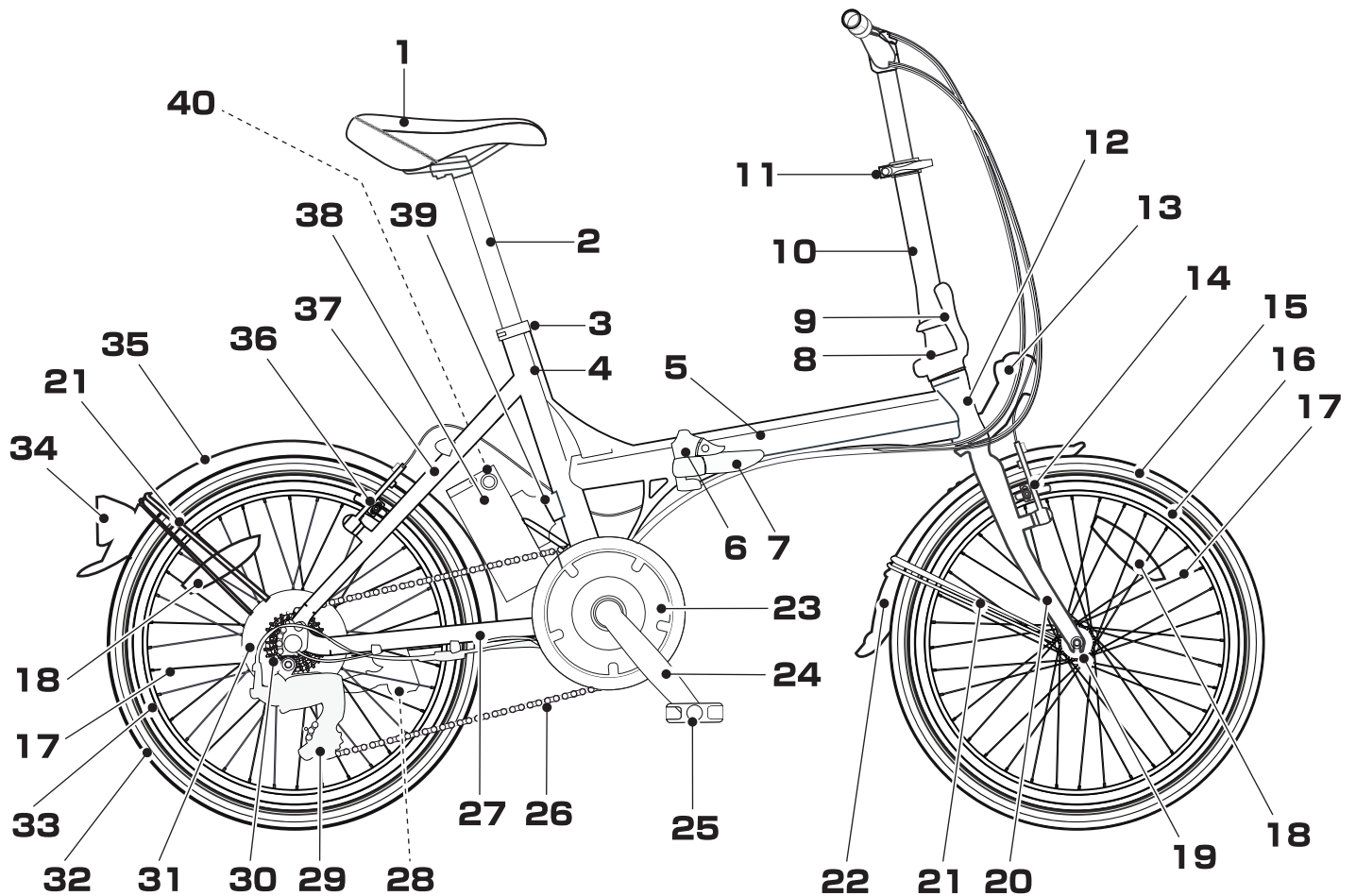
バッテリが外れてケガをしたり、破損するおそれがあります。

走行直後はアシストユニットにふれないこと

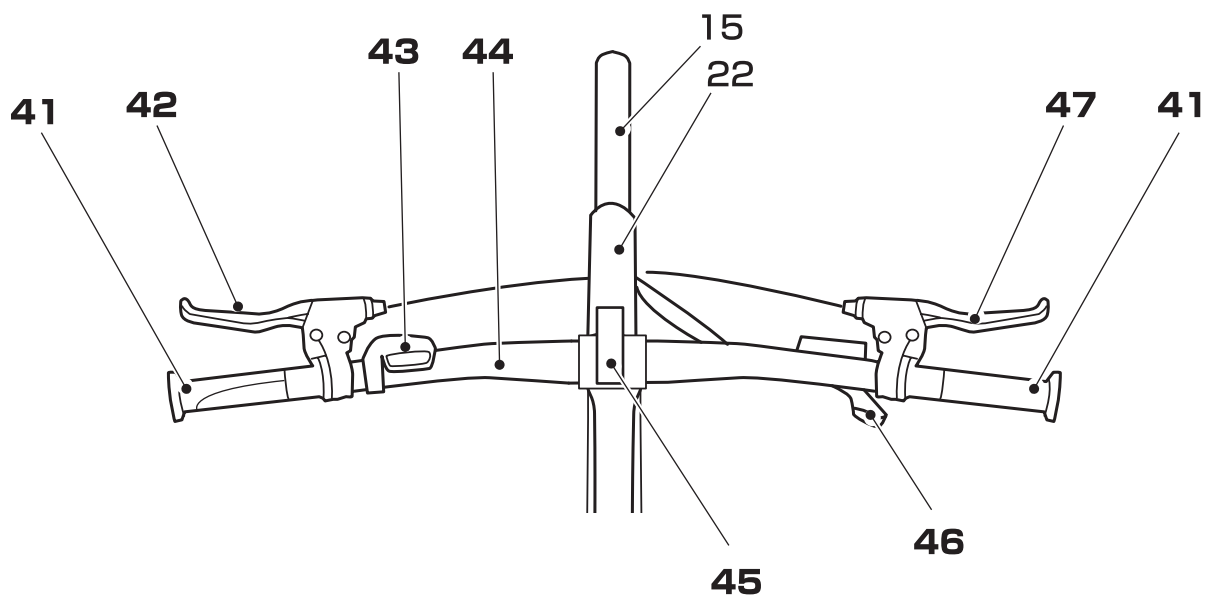
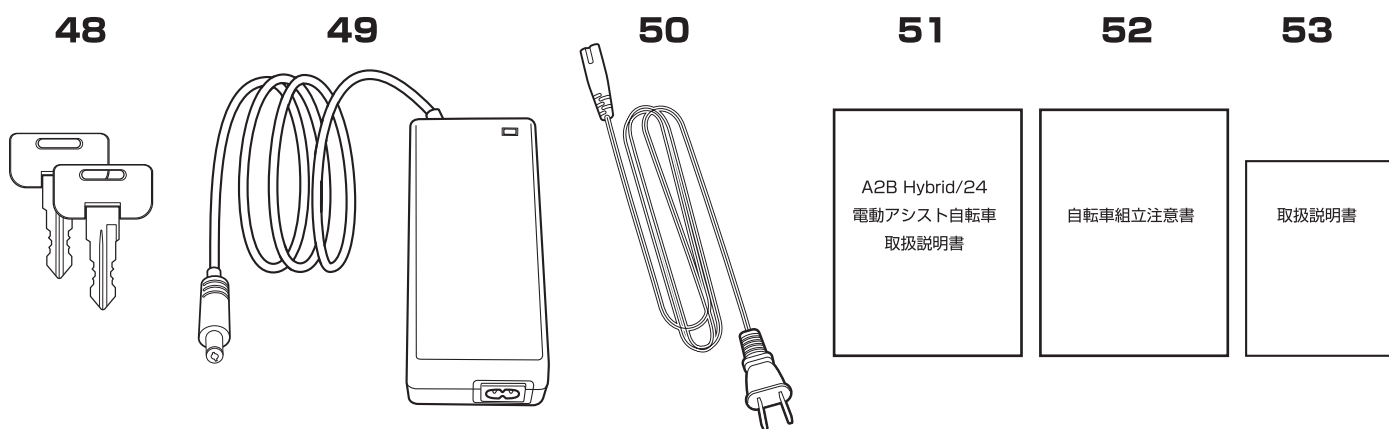
アシストユニットが高温になっていることがあり、やけどのおそれがあります。

バッテリーキーを本体に取り付けたまま走行・駐輪しない

紛失のおそれがあります。

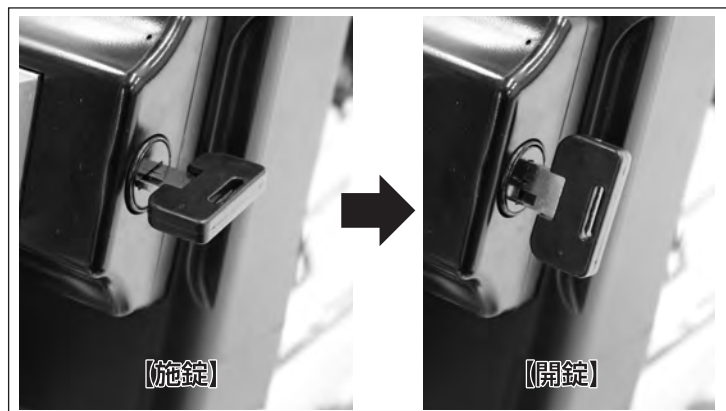
各部名称

1　：サドル	21　：フェンダーステー
2　：シートポスト	22　：フロントフェンダー
3　：シートピン	23　：フロントギア
4　：シートチューブ	24　：クランクアーム
5　：フレーム	25　：ペダル
6　：フレームジョイント	26　：チェーン
7　：フレームジョイント固定レバー	27　：チェーンステー
8　：ステムジョイント	28　：スタンド（車体左側）
9　：ステムジョイント固定レバー	29　：リアディレーラー
10　：ステム	30　：フリー
11　：ステム高さ調節固定レバー	31　：モーターハブ
12　：ヘッドチューブ	32　：後輪タイヤ
13　：フロントライト	33　：後輪リム
14　：フロントブレーキ	34　：リアリフレクター
15　：前輪タイヤ	35　：リアフェンダー
16　：前輪リム	36　：リアブレーキ
17　：スポーク	37　：シートステー
18　：スポークリフレクター	38　：バッテリー
19　：フロントハブ	39　：バッテリー接続部
20　：フロントフォーク	40　：バッテリーロック鍵穴（車体左側）

各部名称

【ハンドル周辺】

【同梱 / 付属品】

41　：グリップ
42　：リアブレーキレバー
43　：操作スイッチ
44　：ハンドルバー
45　：ハンドルバー角度調節固定レバー
46　：変速シフター
47　：フロントブレーキレバー
48　：バッテリーロックキー（合鍵 ×1 付）
49　：充電アダプター
50　：電源コード
51　：電動アシスト取扱説明書（本書）
52　：組立注意書
53　：取扱説明書 / 保証書

各部の名称については P.09「各部名称」をご参照ください。

取り外し方法

①バッテリーロック鍵穴にバッテリーロックキーを差し込みます。

②バッテリーロックキーを縦方向になるように回して開錠します。

③バッテリーを、矢印の方向にスライドさせて取り外します。

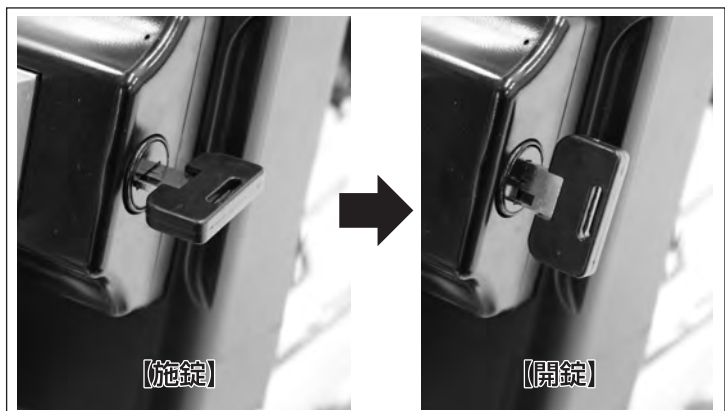
④バッテリーを持ち運ぶ際は、バッテリーのハンドルをお持ちください。

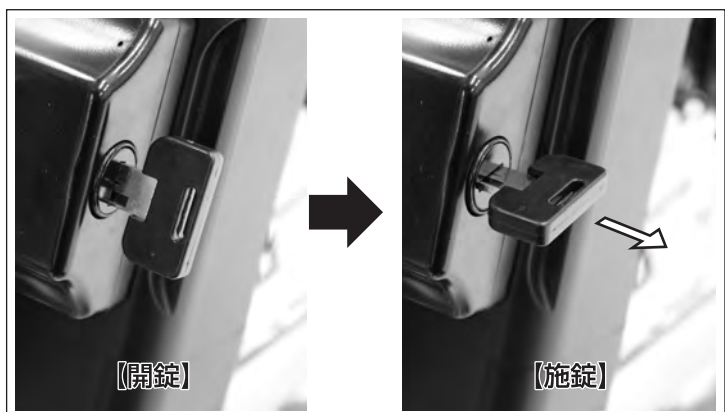
注意

バッテリーロックキーを、鍵穴に差したままにしないようにご注意ください。

各部の名称については「各部名称」P.09 をご参照ください。

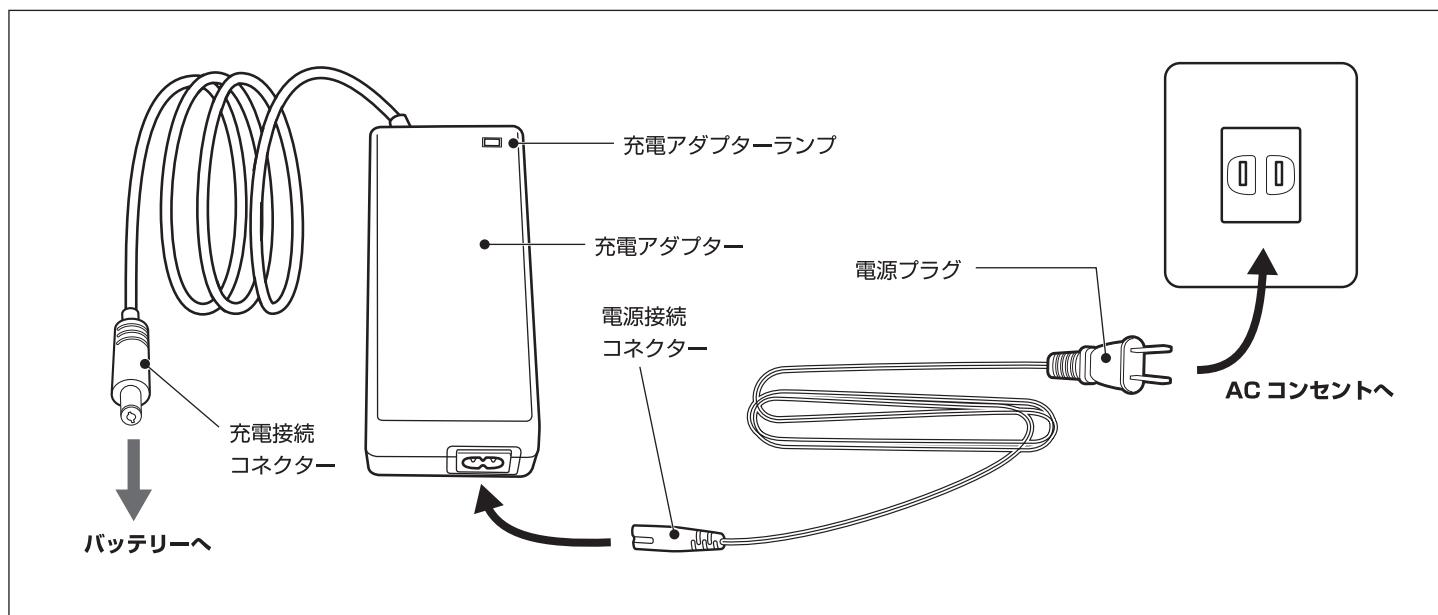
取り付け方法

①バッテリーロック鍵穴にバッテリーロックキーを差し込みます。

②バッテリーロックキーを縦方向になるように回して開錠します。

③バッテリー接続コネクターをバッテリーに差し込みます。

④バッテリーロックキーを横方向になるように回して施錠し、キーを抜き取ります。

各部の名称については P.09「各部名称」をご参照ください。

充電方法

1. 充電アダプターと電源コードの接続

2. バッテリーとの接続と充電

①バッテリーの「充電接続コネクター差込口」へ、充電アダプターの「充電接続コネクター」を差し込みます。

②電源プラグをACコンセントに差し込みます。充電が始まると「充電アダプターランプ」が赤色 / 緑色に点滅します。充電が完了したら緑色に点灯します。
また、バッテリーの「残量表示部」のボタンを押すことでも状態を確認できます。

●充電が完了したら、充電アダプター/電源コードを外してください。
●充電接続コネクター差込口のキャップを閉じてください。

電源の入れ方 / 切り方

各部の名称については P.09「各部名称」をご参照ください。
操作スイッチについては「液晶パネルと操作スイッチ」をご参照ください。

電源の入れ方

①**バッテリーを自転車本体に取り付けます。**
P.12「バッテリー：取り付け方法」参照

バッテリーロックキーを、鍵穴に差したままにしないようにご注意ください。

②**バッテリーの電源を ON にします。**
バッテリーの電源ボタンは、車体左側にあります。

電源 OFF(切)　電源 ON(入)

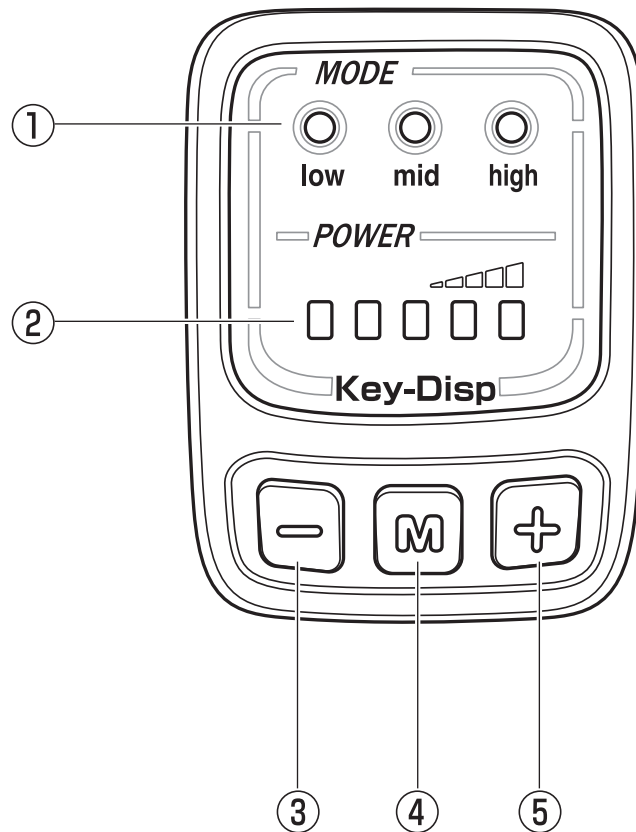
③**操作スイッチを ON にします。**
ハンドルバーにある操作スイッチの「M ボタン」を長押しすると、表示が点灯して電源が入ります。

電源の切り方

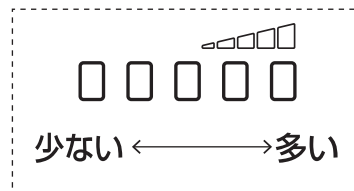
①**操作スイッチを OFF にします。**
ハンドルバーにある操作スイッチの「M ボタン」を長押しすると、表示が消灯して電源が切れます。

②**バッテリーの電源を OFF にします。**
バッテリーの電源ボタンを押して、電源を切ります。

操作スイッチ

操作スイッチの各部名称と機能

①アシストモード（→P.16）

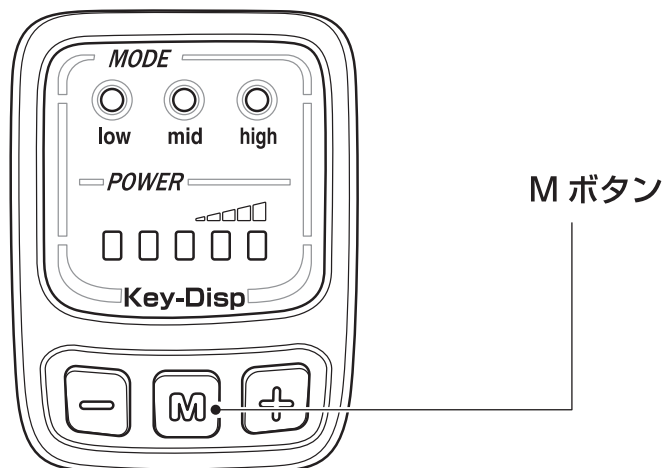
②バッテリー残量の表示

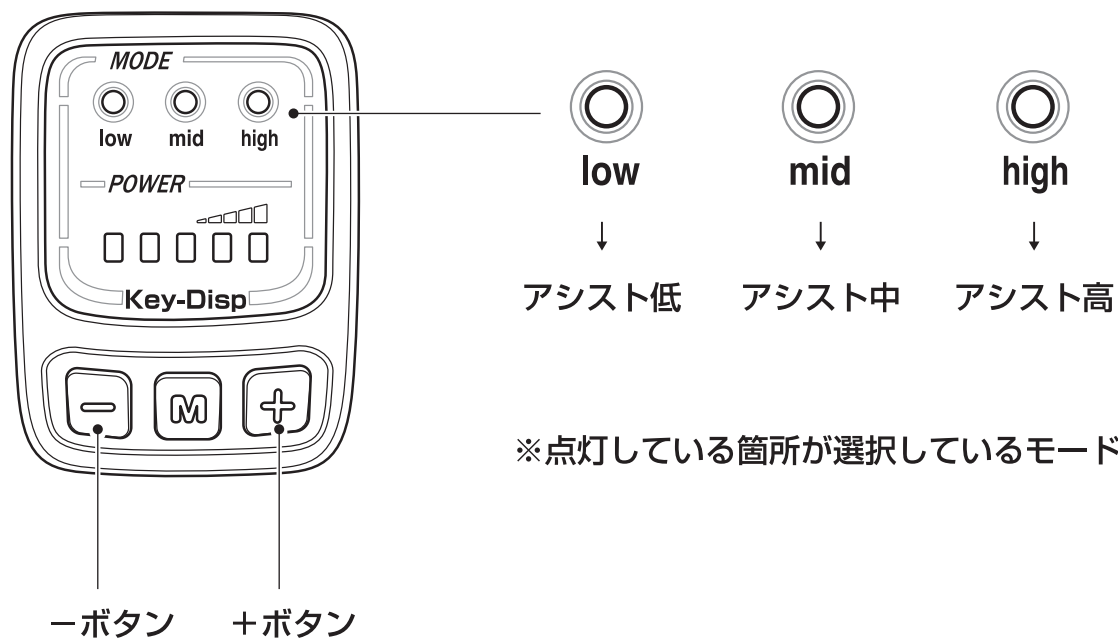
全て点灯している場合が満充電となり
バッテリー残量が減るごとに
点灯数が減ります。

③－ボタン：アシストモードの選択

④M ボタン：電源 ON/OFF

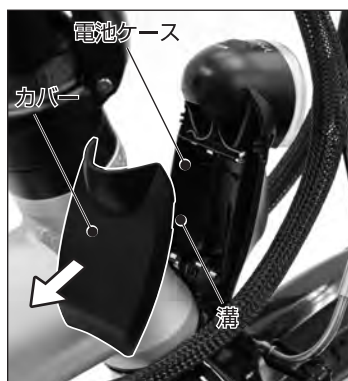
⑤＋ボタン：アシストモードの選択

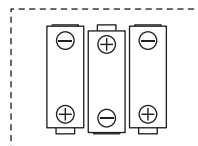
アシストモードの切り替え

①バッテリーの電源スイッチを ON にしてから、操作スイッチ「M ボタン」を長押しして電源を入れます。（P.14「電源の入れ方 / 切り方」を参照してください）

②電源を入れたときは、アシストモードが「low」になっています。操作スイッチ「＋ボタン」「－ボタン」を押して、アシストモード「low」「mid」「high」を選択してください。

ライト

本品のライトは、単三電池 ×3 本（別売）が必要です。

●電池のセット方法

①ライトの電池ケースカバーを外します。

②カバーの左右の側面に溝があるので爪などをひっかけて外してください。

③単三電池 3 本（別売）を電池ケースの刻印にしたがってセットしてください。

④電池ケースカバーを戻します。パチンと音がするまでしっかりとはめてください。

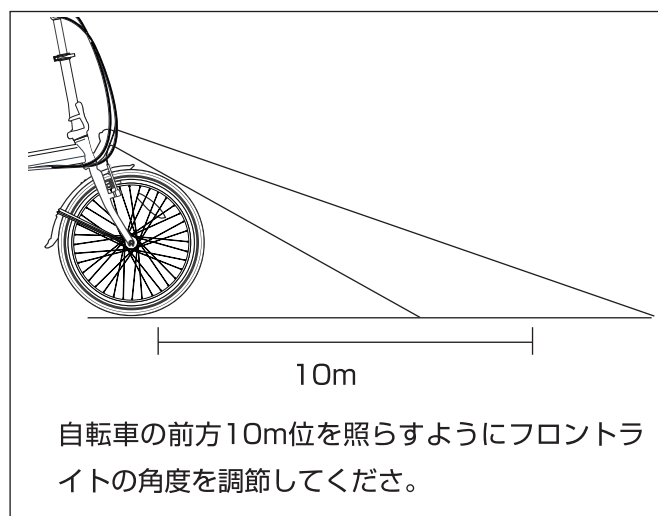
●ライトの点灯 / 消灯

ライトスイッチを押して、点灯 / 消灯を切替えます。

注意

長期間使用しないときはライトから電池を外してください。

●ライトの角度

自転車の前方10m位を照らすようにフロントライトの角度を調節してくださ。

強制

夜間及びトンネル内など暗いところを走行するときは、必ずライトを点灯することが法律で定められています。
ライトがつかないときは押して歩いてください。

走行距離の目安

満充電後、バッテリーの残量がなくなるまでの走行距離の目安です。
走行距離は新品バッテリー、気温 25℃、車載重量 60kg、乾燥路面、無風状態で走行した場合の当社のデータです。

モード	走行距離目安
high	約 25km
mid	約 30km
low	約 40km

●冬場はバッテリーの特性上、走行距離が短くなります。
●充電回数の増加に従い、1 充電あたりの走行距離は短くなります。
●充電回数が少なくても、長時間の使用により 1 充電あたりの走行距離は新品のバッテリーに比べて半分程度になる場合があります。
●走行距離は道路状況、気温、気象や走り方により異なります。
●ペダルを踏み込む力が強いほど、バッテリーは早く消耗します。

保管と手入れ

<table>
<tr><th>⚠ 警　告</th></tr>
<tr><td>電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししないこと
感電するおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>電源プラグや充電プラグは根元まで完全時差し込むこと
感電や火災のおそれがあります。</td></tr>
</table>

モーター、スイッチ、バッテリー、充電アダプターは乾いた布で、泥・土・埃・水濡れをふき取ってください。

自転車本体のお手入れ方法については同封の「取扱説明書 / 注油について･お手入れと保管･こんなときどうするか」を参照してください。

保管場所

電動アシスト自転車は次のような場所に保管してください。

また、保管の際はカバーをかけてください。

●平らで安定しているところ

●風通しが良く、湿気のないところ

●雨つゆや直射日光の当たらないところ

長期保管をするときは

電動アシスト自転車を一ヶ月以上使用しないで保管するときは、次のことを行ってください。

●バッテリー残量目盛りが残りひとつになるまでバッテリーを使用してから保管する

●バッテリーを自転車本体から取り外して適した場所で保管する

●保管に適した温度（-20 ～ 20℃を推奨）で保管する

●1 年に 1 回は充電する。また、充電後のバッテリー残量目盛りが残りひとつになるまでバッテリーを使用してから再保管する

長期保管した後に使用するときは

長期保管した後に再び電動アシスト自転車を使用するときは、次のことを行ってください。

●バッテリー、操作スイッチの電源を入れて、液晶パネルの表示状態を確認する

●バッテリー残量がない場合には、充電してから使用する

●6 ヶ月を越えたら点検整備を受ける

点検・整備項目

強制 以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。
自転車本体の点検項目については、同封の「取扱説明書 / 点検・調整チェックリスト」を参照してください。

注意 異常を感じた場合は定期点検と関係なく、販売店で点検を受けてください。

点検項目		点検期間						
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
		2ヶ月	6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
1	アシスト機能は正常に作動するか 異音がしないか							
2	モーターからグリス漏れがないか							
3	電気配線の接続部にゆるみ 損傷がないか							
4	コードの断線がないか フレームへの取付は適切か							
5	バッテリーロックキーは作動するか							
6	バッテリーの取付け状態は確実か							
7	表示ランプは点灯するか 異常を表示していないか							
8	バッテリーの消耗が早くなっていないか							

故障かな？と思ったら

各部の名称については P.09「各部名称」を御参照ください。

こんなときは	ご確認ください	対処方法
電源が入らない	充電されていますか？	バッテリーを充電してください。 （P.13「バッテリー / 充電方法」参照）
電源は入るが、モーターが動かない（操作スイッチは表示されて、バッテリーの残量も十分であることが表示されている）	ブレーキをかけていませんか？	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがしっかりと戻っていることを確認してください。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電ができない	バッテリーと充電アダプターが正しくセットされていますか？	バッテリーから充電接続コネクターを、充電アダプターから電源コードを一旦抜いて、もう一度各コネクター / コードを接続しなおしてください。（P.13「バッテリー / 充電方法」参照）
	バッテリーが完全放電している	充電が開始してもすぐに満充電表示（緑色ランプ）がされる場合は完全放電の可能性があります。ご購入された販売店までお問合せください。
走行距離が短い	充電されていますか？	バッテリーを充電してください。 （P.13「バッテリー / 充電方法」参照）
	バッテリーを長期間使用せずに放置していませんでしたか？	充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかった場合には自然に放電してしまうため、残量がなくなっていることがあります。
	坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしませんでしたか？	道路条件や変速位置等により走行距離が短くなります。
	気温は低くないですか？	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えているため、バッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります。
	気温は高くないですか？	高温で放置した場合は、バッテリーの残量が減少することがあります。
	使い込んだバッテリーを使用していませんか？	バッテリーの寿命と思われます。新しいバッテリーをご購入頂き、交換してください。

製品仕様

フレーム材質	アルミフレーム
折りたたみサイズ	850×490×710mm
重量	19kg
タイヤサイズ	20×1.75 米式バルブ
変速機	外装 7 段変速
ブレーキ	V ブレーキ
ライト	LED バッテリーライト(単三電池 3 本(別売))
アシストモード	low / mid / high モード
走行距離（1 / 2 / 3 モード）	40km / 30km / 25km
補足速度範囲	0 ～ 10km 比例補助 /10 ～ 24km 逓減(ていげん)補助
モーター型式	直流ブラシレスモーター
モーター定格出力	250W
バッテリ型式	充電式リチウムイオンバッテリ
バッテリ定格出力電圧	24V
バッテリ容量	8Ah
バッテリ寿命	約 300 回
充電器型式	スイッチングレギュレーター方式
電源	AC100 ～ 240V　50/60Hz
消費電力	74W
充電器定格出力電圧	DC29.4V　2.0A
充電時間	約 4 時間

お問合せ

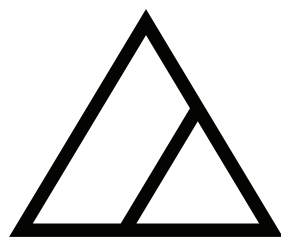
輸入元及び日本国内お問合せ先

ジック株式会社

大阪市住之江区柴谷 1-1-40 〒559-0021

TEL：06-6686-6800（代） 受付時間 AM10：00 ～ PM6:00 土日祝 / 盆 / 年末年始を除く

E メール：support@gic-bike.com

ホームページ：http://gic-bike.com/

●製造元

Hero Eco Ltd

80 Coleman Street

London

EC2R 5BJ

www.heroeco.com

●輸入元及び日本国内お問合せ先

ジック株式会社

大阪市住之江区柴谷 1-1-40

〒559-0021

TEL.06-6686-6800（代）

www.gic-bike.com